

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 7 日 (2021.10.7)

【公開番号】特開 2021-236 (P2021-236A)

【公開日】令和 3 年 1 月 7 日 (2021.1.7)

【年通号数】公開・登録公報 2021-001

【出願番号】特願 2019-115012 (P2019-115012)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/533 (2006.01)

A 6 1 F 13/511 (2006.01)

A 6 1 F 13/536 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/533

A 6 1 F 13/511 1 0 0

A 6 1 F 13/533 1 0 0

A 6 1 F 13/536 1 0 0

A 6 1 F 13/53 2 0 0

A 6 1 F 13/49 4 1 0

A 6 1 F 13/15 3 2 0

A 6 1 F 13/15 3 3 1

A 6 1 F 13/53 1 0 0

A 6 1 F 13/536

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 26 日 (2021.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前後方向、前記前後方向に直交する幅方向、及び厚さ方向と、

前側域と、後側域と、前記前側域及び前記後側域とに前記前後方向で挟まれている股下域と、

少なくとも前記股下域に配置されている吸収体と、を有し、

前記吸収体には、前記厚さ方向に圧搾された圧搾部が設けられている吸収性物品であって、

前記圧搾部は、

前記吸収体の平面視において格子状のパターンを有する第 1 圧搾部と、

前記吸収体の平面視において前記格子状のパターンと異なるパターンを有する第 2 圧搾部と、を有する、吸収性物品。

【請求項 2】

前記吸収体の平面視において、単位面積当たりの前記第 2 圧搾部が占める面積は、単位面積当たりの前記第 1 圧搾部が占める面積よりも大きい請求項 1 に記載の吸収性物品。

【請求項 3】

前記第 2 圧搾部は、前記股下域に設けられている請求項 2 に記載の吸収性物品。

【請求項 4】

前記股下域は、前記吸収性物品の前記前後方向の中心よりも後側に位置する後側股下域を有し、

前記第 2 圧搾部は、前記後側股下域に設けられている請求項 3 に記載の吸収性物品。

【請求項 5】

前記吸収体の平面視において、前記第 2 圧搾部は、前記第 1 圧搾部と離れた位置に設けられている請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品。

【請求項 6】

前記吸収体の平面視において、前記第 1 圧搾部と前記第 2 圧搾部との前記前後方向における離間距離は、前記第 1 圧搾部により構成される 1 つの格子の前記前後方向における長さよりも長い請求項 5 に記載の吸収性物品。

【請求項 7】

前記第 1 圧搾部は、

前記吸収性物品の前記前後方向の中心よりも前側に設けられている前格子圧搾部と、
前記前後方向の中心よりも後側に設けられている後格子圧搾部と、を有し、

前記吸収体の平面視において、単位面積当たりの前記後格子圧搾部が占める面積は、単位面積当たりの前記前格子圧搾部が占める面積よりも大きい請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品。

【請求項 8】

前記圧搾部は、前記吸収体の平面視において前記格子状のパターンと異なるパターンを有する第 3 圧搾部をさらに有し、

前記第 3 圧搾部は、前記第 2 圧搾部よりも前側に設けられている請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品。

【請求項 9】

前記第 3 圧搾部は、前記第 1 圧搾部よりも前側に設けられており、

前記吸収体の平面視において、単位面積当たりの前記第 3 圧搾部が占める面積は、単位面積当たりの前記第 1 圧搾部が占める面積よりも大きい請求項 8 に記載の吸収性物品。

【請求項 10】

前記吸収体は、液体を吸収する吸収材料を含む吸収コアを有し、

前記吸収コアは、前記吸収体の平面視において、前記吸収コアの前記幅方向における両側端縁が前記幅方向の内側に向かって括れた括れ部を前記股下域に有しており、

前記第 3 圧搾部は、前記括れ部よりも前側に設けられている請求項 8 又は 9 に記載の吸収性物品。

【請求項 11】

少なくとも前記前側域に設けられる外装体を有し、

前記第 3 圧搾部は、前記外装体と前記厚さ方向に重なっている請求項 8 から 10 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品。

【請求項 12】

前記第 3 圧搾部は、前記吸収性物品の前記幅方向の中心を跨がっており、かつ前記吸収体の平面視において後側に向かって凸形状となるように前記幅方向に延びている請求項 8 から 11 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品。

【請求項 13】

前記第 1 圧搾部は、前記格子状のパターンを有するように間欠的に設けられている複数の圧搾部により構成されている請求項 1 から 12 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品。

【請求項 14】

吸収性物品に係る吸収体の製造方法であって、

少なくとも吸収コアを厚さ方向に圧搾することにより圧搾部を設ける圧搾工程を有し、

前記圧搾工程では、前記圧搾部として、前記吸収コアの平面視において格子状のパターンを有する第 1 圧搾部と、前記吸収コアの平面視において前記格子状のパターンと異なる

パターンを有する第 2 圧搾部と、を設ける、吸収体の製造方法。

【請求項 15】

前記圧搾工程では、コアラップを構成するコアラップシートで前記吸収コアを覆う工程を有し、

前記圧搾工程では、前記吸収コアと前記コアラップシートとを圧搾することにより前記圧搾部を設ける請求項 14 に記載の吸収体の製造方法。

【請求項 16】

前記圧搾工程では、

一对の第 1 ロールの少なくとも一方の外周面に設けられた第 1 凸部によって前記吸収コアと前記コアラップシートとを圧搾することにより前記第 1 圧搾部を設ける工程と、

一对の第 2 ロールの少なくとも一方の外周面に設けられた第 2 凸部によって前記吸収コアと前記コアラップシートとを圧搾することにより前記第 2 圧搾部を設ける工程と、を有する請求項 15 に記載の吸収体の製造方法。

【請求項 17】

前記圧搾工程では、前記第 1 圧搾部と前記第 2 圧搾部とのうち一方の圧搾部が設けられた圧搾領域において他方の圧搾部を設ける場合、搬送方向において前記圧搾領域の一部の領域のみで前記吸収コアと前記コアラップシートとを圧搾する、請求項 16 に記載の吸収体の製造方法。

【請求項 18】

前記圧搾工程は、

前記第 1 圧搾部と前記第 2 圧搾部とのうち前記厚さ方向に深く圧搾される一方の圧搾部を設ける工程と、

前記一方の圧搾部が設けられた後に、前記第 1 圧搾部と前記第 2 圧搾部とのうち他方の圧搾部を設ける工程と、を有する、請求項 16 又は 17 に記載の吸収体の製造方法。

【請求項 19】

吸収性物品に係る吸収体の製造装置であって、

少なくとも吸収コアを複数の凸部によって圧搾することにより圧搾部を設ける圧搾装置を有し、

前記複数の凸部は、

前記吸収コアの平面視において格子状のパターンを有する第 1 圧搾部を設ける第 1 凸部と、

前記吸収コアの平面視において前記格子状のパターンと異なるパターンを有する第 2 圧搾部を設ける第 2 凸部と、を有する、吸収体の製造装置。